

## 平成29年度第1回長浜市健康づくり推進協議会 会議録

日 時：平成29年6月22日（木）14：00～15：50

場 所：ウェルセンター2階会議室

### 【出席者】

湖北医師会：手操会長  
湖北歯科医師会：川瀬副会長  
湖北薬剤師会：山内監事  
市立長浜病院：土川地域医療連携室長  
長浜市立湖北病院：西川事務局長  
長浜赤十字病院：大橋地域医療連携課長  
長浜市社会福祉協議会：川崎神照郷里地域包括支援センター所長  
事務局：健康推進課 藤居部長・織田次長・伊藤参事・藤副参事・岸下副参事・森副参事・伊吹副参事・大谷主査・金戸主事

長浜市小中学校教育研究会養護教諭部会：宮村養護教諭  
長浜市老人クラブ連合会：村上理事  
長浜市民生委員児童委員協議会：早川副会長  
健康づくり0次クラブ：大橋副理事長  
長浜市健康推進員協議会：瀧本副会長

### 【代理出席】

湖北健康福祉事務所：寺脇係長

### 【欠席者】

長浜市連合自治会：速水伊香具連合会長

### 【要点録】

#### 1 開会（挨拶：長浜市長）

#### 2 議事

「健康ながはま21」第3期（平成26～30年度）

平成28年度の実施結果と平成29年度実施計画について（資料1）

- ①目標達成状況について（資料2）
- ②平成29年度の健康づくりの中心となる取り組みと課題について（資料3～6）
- ③健康ながはま21の改訂とスケジュールについて（資料7）

#### 【事務局説明】

- ①「健康ながはま21」第3期3年目となる現在の目標達成状況について、資料2に基づき報告しました。
- ②平成29年度の健康づくりの中心となる取り組みと課題について報告しました。
  - ・地区担当保健師と子育てコンシェルジュ事業について（資料3）
  - ・母子歯科対策の推進について（資料4）
  - ・喫煙対策について（資料5）
  - ・休日夜間の病院のかかり方等について（資料6）

#### 健康寿命について

委員：健康寿命は以前見たデータでは70歳前半だったと記憶していますが、資料2の健康寿命と違いはありますか。

事務局：国民生活基礎調査から算定された健康寿命と介護を必要としない期間から算定した健康寿命があり、資料2では介護を必要としない期間から算定した数字を使っています。  
国民生活基礎調査は日常生活に支障があるかないかをアンケートで調査しています。  
数字を比べると、国民生活基礎調査による健康寿命は平均寿命とくらべ10年ほど差が出るため、介護を必要としない期間から算定したものと比べ差が大きくなり、滋賀県は全国と比べると悪い結果となっています。  
どちらの基準でも、健康寿命と平均寿命との差をなくすことを目標としています。

会長：長浜市は介護認定度から健康寿命を算定しています。  
介護を必要としない期間から見ると滋賀県は平均寿命が長い方ですし、健康寿命が短いわけでもない。長浜市から見ても滋賀県の中で高いことはあっても低いわけでもない。  
引き続き、健康寿命の延伸に取り組んでいきましょう。

#### 喫煙予防について

会長：妊婦の喫煙率については、日本は先進国の中でもまだまだ高く、受動喫煙の防止については国でも関心が高い問題です。  
妊婦の喫煙率が下がれば、低出生体重児を減らすことができる。母親だけではなく、パートナー等も含めて様々な方向にも影響する問題であり、資料2の生活習慣病の原因はほとんどタバコとなっていますので、そういった状況の中で長浜市が喫煙の問題を大きく取り上げ、積極的に取り組んでいただいていることはありがたい。医師会としても健康づくり推進協議会としても頑張っておきたいと思っています。

#### 高齢者の健康について

委員：高齢者の健康について、転倒予防の自助グループの人数は資料に記載された数字が全人数という理解でよろしいでしょうか。

事務局：資料1では実人数が挙がっていて、延人数を挙げることで数は増えると思います。  
また、資料の数字は届出をされている人数になりますので、届出をされず、各自治会で独自にされている方の数字は入っておりません。実際の人数はさらに増えると思います。

#### 地域医療について

会長：医師の数は現状維持できているという理解でよろしいでしょうか。

事務局：医師の数は湖北圏域では現状として減っています。併せて人口も減っているので1000人単位で見ると数は変わっていないように見えます。

#### 歯科予防について

委員：歯科の分野では頑張っておりましたが、3歳児のむし歯が無い人の数が多くなったという事は2年前からの指導の成果が表れていると思います。  
マンパワーも限られている状況ですが、各担当のメンバーが様々な場所でお声かけをしていただくとありがたいと思います。

会長：資料4のハイリスクアプローチについて、平成29年度の計画の中でむし歯にかかられた方に対してむし歯り患者へ歯科受診勧奨、受診報告をされておられますが、ハイリスクというと母親がたばこを吸っている、唾が出ない、などが挙げられると思います。ハイリスク者にアプローチするのであれば、社会経済的にマイナーな人たち、収入が少ない人などにどのようなアプ

ローチをするということが大事になると思われます。

#### 計画の改訂について

事務局：国と県の計画を鑑みながら、今年度後半から来年度にかけて見直しを考えています。

自殺対策についても、県で作成された自殺対策計画を見本にして市の自殺対策計画を健康ながはま21とともに策定したいと考えています。

#### 健康推進員の会員数について

委員：健康推進員の数が少なく、徐々に減っています。会員の増員について考える時期ではないでしょうか。

事務局：言われるとおり合併後、会員の数は減っています。その中で、減塩活動などを頑張ってもらっています。そういった活動をさらに発信していくにあたり、数を増やさなければならないと考えています。

委員：健康推進員になる方法が養成講座のみという状況が増員する上での課題にもなっているのではないのでしょうか。講習・研修の場を広げていくと良いのではないかと思います。

### 3 閉会（挨拶：健康福祉部長）